

第132回(令和5年2月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

チームマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	チームCO	長整数型	1
	チーム名	テキスト型	フェード

※チームマスタ.csvの1行目は項目名とする。

スコアテーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	スコアCO	長整数型	101
	選手名	テキスト型	大浦 孝太郎
	チームCO	長整数型	7
	スコア	長整数型	91

<処理条件>

スコアが90以下の一覧表を作成する。

- それぞれのチームCOを関連付けしなさい。
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。
スコアが90以下を抽出しなさい。
[処理結果件数：5件]
- 表を作成しなさい。
表題は“スコア一覧表（90以下）”とする。
データの並び順はスコアの昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

スコア一覧表（90以下）			
スコアCO	選手名	チーム名	スコア
133	古川 勇太	コントローラー	85
	}		
142	日下部 陽向	クローザー	90

第132回(令和5年2月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語ソフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

従業員マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	従業員CO	長整数型	101
	名前	テキスト型	山崎 奏斗
	時給	長整数型	1000

勤務テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	従業員CO	長整数型	101
○	年月	長整数型	202209
	勤務時間	長整数型	31

※従業員マスタ.csvの1行目は項目名とする。

<処理条件>

給与が6万円以上の一覧表を作成する。

- それぞれの従業員COを関連付けしなさい。

従業員CO・年月ごとに給与を求めなさい。

給与=時給×勤務時間

給与が60,000以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：6件]

- 勤務時間・給与の平均を求めた表を作成しなさい。

表題は“給与一覧表（6万円以上）”とする。

データの並び順は給与の降順とする。

平均は整数未満四捨五入の表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

給与一覧表（6万円以上）				
従業員CO	名前	年月	勤務時間	給与
132	浅井 里穂	202210	51	71,400
		⋮		
122	水上 朗	202211	40	60,000
		平均	XX	XX,XXX

第132回(令和5年2月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
	顧客名	テキスト型	ナック
	店舗CO	長整数型	14

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	101
	商品名	テキスト型	スクエア(青)
	単価	長整数型	10000

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

当月売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2023/1/6
○	商品CO	長整数型	111
	数量	長整数型	5

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2022/6/6
○	商品CO	長整数型	110
	数量	長整数型	17

<処理条件>

当月売上を追加し、9月以降の売上額合計が90万円以上の顧客別一覧表を作成する。

- <当月売上テーブル>のすべてのレコードを<売上テーブル>に追加しなさい。
[追加件数：58件]
- <売上テーブル>・<商品マスタ>の商品COを関連付けしなさい。
顧客CO・売上日・商品COごとに売上額を求めなさい。
売上額=単価×数量
売上日が2022/9/1以降を抽出しなさい。
[処理結果件数：295件]
- <処理条件>2.の結果と<顧客マスタ>の顧客COを関連付けしなさい。
顧客CO・顧客名ごとに売上額を集計(合計)しなさい。
売上額を集計は“売上額合計”とする。
売上額合計が900,000以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。
表題は“顧客別売上額合計一覧表(90万円以上)”とする。
データの並び順は売上額合計の昇順とし、売上額合計は通貨表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

顧客別売上額合計一覧表(90万円以上)		
顧客CO	顧客名	売上額合計
1013	田中商事	¥900,000
	}	
1001	ナック	¥1,422,000

第132回(令和5年2月)情報処理技能検定試験(データベース)1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
	顧客名	テキスト型	久利 昭
	割引率	倍精度浮動小数点型	0.06
	登録日	日付/時刻型	2013/6/11
	エリアCO	長整数型	40

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

エリアマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	エリアCO	長整数型	11
	エリア	テキスト型	四本松町

※エリアマスタ.csvの1行目は項目名とする。

商品マスタ

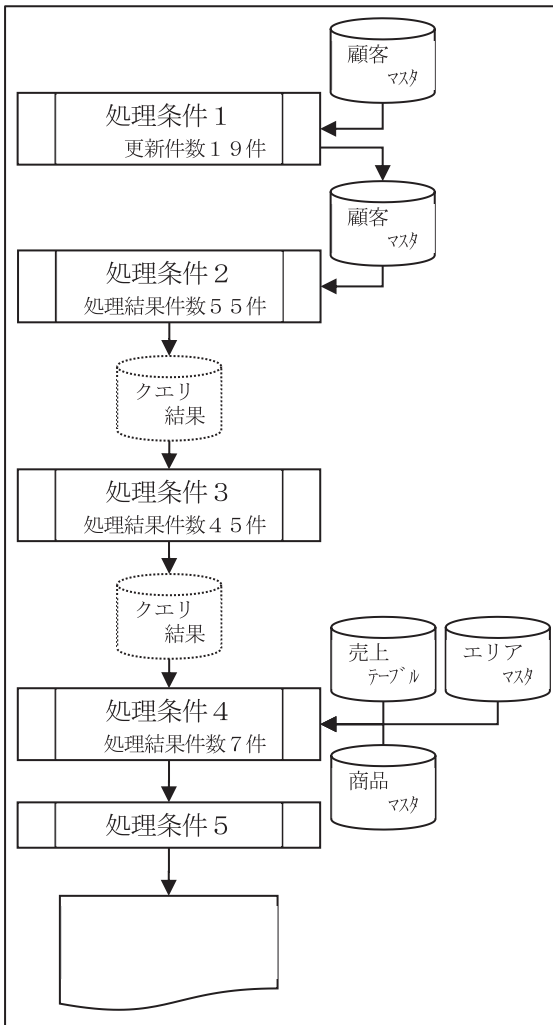
KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	101
	商品名	テキスト型	レターセット
	単価	長整数型	400

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2023/1/10
○	商品CO	長整数型	118
	数量	長整数型	4

<処理フロー>



<処理条件>

割引率を更新し、2017年1月以降に登録した顧客が複数在住しているエリアの売上金額一覧表を作成する。

- 割引率が0.02のレコードの割引率を0.04に更新する。
- 登録日が2017/1/1以降を抽出する。
- エリアCOが重複するデータのエリアCO・顧客CO・割引率を抽出する。
- エリアCO・エリアごとに売上金額を集計（合計）する。
売上金額 = 単価 × 数量 × (1 - 割引率)
売上金額が50,000以上を抽出する。
- 売上金額の合計を求めた表を作成する。
表題は“エリア別売上金額一覧表（複数人在住エリア）”とする。
データの並び順は売上金額の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

エリア別売上金額一覧表（複数人在住エリア）		
エリアCO	エリア	売上金額
30	西島町	109,122
	}	
27	小松	50,000
	合計	XXX,XXX